

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。		主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施				
	位置づけ	関連計画			刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画				
		根拠法令							
		対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者	事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ連合会及び単位老人クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会（雨天により開催中止） グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会（中止） グラウンド・ゴルフ大会（中止） おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園（中止） 簡易健康度評価（中止） 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。 参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。 							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標		いきいきクラブ加入者数（人）	7,424	7,253	6,972	7,200	—		
活動指標		いきいきクラブ加入率（%）	20.3	19.7	18.7	20.0	—		
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。 							
C事業コスト		単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①	7,759	7,513	7,278	7,880	合計 7,277,752 円			
	財源	特定財源	1,803	1,891	1,846	1,767	委託料 673,804 円		
		一般財源	5,956	5,622	5,432	6,113	使用料及び賃借料 920 円		
	職員人件費 ②	3,722	3,703	6,007	3,635	負担金、補助及び交付金 6,603,028 円			
	総事業費（①+②）	11,481	11,216	13,285	11,515				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		県支出金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となつてはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齡福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援							
	目的	消火設備を設置することにより、在宅ねたきり高齡者の安全を確保し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○要介護4、5の高齡者のみの世帯又はこれに準ずる世帯を対象に自動消火設備を設置する。 ○自動消火設備設置に対する助成 助成率 非課税世帯 10/10 課税世帯 9/10 1人当たり 上限3台						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市住宅用消火設備設置費助成事業実施要綱							
		対象者	主たる内容に記載		事業期間	平成28年度～令和元年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・設置者 0人 ・助成額 0円		・設置者 1人 ・助成額 226,800円		・設置者 0人 ・助成額 0円		_____		
成果		要介護4・5の対象者に事業を周知するとともに、利用について意向調査を行った。								
課題		平成28年度からの利用実績が3件であり、事業開始時に設定した平成30年度末までの事業計画から1年延長したものの、平成31年度の実績も0件であったことから事業の廃止に至った。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標	住宅用消火設備設置者数（人）		0	1	0	—	—			
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	227	0	0	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	0	227	0	0				
	職員人件費 ②		698	1,157	1,078	0				
	総事業費（①+②）		698	1,384	1,078	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			高齡者住宅用消火設備設置費助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齡福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	火災からの逃げ遅れを防ぎ、寝たきり高齡者の安全を確保する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	福祉の増進が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	安全に関する支援であるため、市が助成していくことは妥当性がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	高齡者の住み慣れた地域での在宅生活のためにも有益である。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度から3か年の期限付き事業であったが、平成31年度は延長で予算要求を行った。以降の継続についてサービスの提供方法を含め検討を行ったが、平成31年度は実績がなく終結となった。					

会計名 一般会計			特別養護老人ホーム整備費補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業計画の施設等の整備目標に基づき、特別養護老人ホームの施設整備費に対して補助金を交付することにより、整備を促進し、高齢者の福祉増進を図る。			主たる内容	愛知県老人福祉施設等設置費補助金交付要綱に規定されている補助額の10%を補助金として交付する。 <対象施設及び交付年度> ・特別養護老人ホーム（定員100人） 令和元年度、令和2年度の2か年			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	介護保険法					
		対象者	事業者	事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・補助件数 1件 ・補助額 16,500千円		—		・補助件数 1件 ・補助額 15,750千円		・補助件数 1件 ・補助額 15,750千円	
成果		介護保険事業計画に基づき、令和3年4月の開所を目指し、補助金を活用し工事に着手することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		特別養護老人ホーム整備床数（床）			490	490	490	590	590
指標									
他市との比較検証		安城市：愛知県の補助額の10% 知立市：市の単独補助なし							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		16,500	0	15,750	15,750	合計 15,750,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 15,750,000 円		
		一般財源	16,500	0	15,750	15,750			
	職員人件費 ②		0	0	39	38			
	総事業費（①+②）		16,500	0	15,789	15,788			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			特別養護老人ホーム整備費補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	特別養護老人ホームの入所待機者の解消を図るなど介護サービスの充実を推進する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	刈谷市補助金等交付規則の規定に基づき補助金を交付している。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	特別養護老人ホームは、設置主体が社会福祉法人などに限られ、公益性が高い施設である。また、第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で特別養護老人ホームの整備を位置づけている。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	社会福祉法人の安定した経営による良質なサービスの提供を行うことに寄与できる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
毎年実施している特別養護老人ホームの入所待機者数調査の結果等を基に、今後の施設整備及び補助金交付の必要性について検討する。					

会計名 一般会計			地域密着型サービス施設等整備助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業計画の整備目標に基づき、民間事業者が整備する地域密着型サービス事業所等の建設事業費に対して補助金を交付することにより、整備を促進し、高齢者の福祉増進を図る。			主たる内容	地域密着型サービス事業所等の建設事業費に対して、補助金を支給する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
		対象者	事業者		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		—		—		事業者は既存の建物を利用したため、当初予定していた施設整備にかかる建設経費の補助制度は活用しなかったが、令和元年11月に市内初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所を開所することができた。		補助対象サービス ・認知症対応型共同生活介護事業所 ・小規模多機能型居宅介護事業所 補助件数 2件 補助金額 70,560千円		
成果		事業者は既存の建物を利用したため、当初予定していた施設整備にかかる建設経費の補助制度は活用しなかったが、令和元年11月に市内初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所を開所することができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
成果指標	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数（箇所）	0	0	1	1	1				
成果指標	認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護併設型事業所数（箇所）	2	2	2	3	3				
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	0	70,560	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	70,560				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		0	0	0	38				
	総事業費（①+②）		0	0	0	70,598				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			地域密着型サービス施設等整備助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者の自宅での生活を支援するとともに、随時対応が可能な訪問型サービス事業所は、高齢者やケアマネジャーあてに実施したアンケート調査においても、整備を求められていた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	定期巡回・随時対応型訪問介護介護事業所は、その利用が刈谷市民に限られる地域密着型サービスの事業所である。また、第7期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で整備を位置付けている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	事業者の安定した経営による良質なサービスの提供を行うことに寄与できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・地域密着型サービスの利用見込みを適正に行った上で、今後の整備及び補助金交付の必要性を検討する。					

会計名			介護施設開設準備経費等支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業計画の整備目標に基づき、民間事業者が整備する地域密着型サービス事業所等の開設準備経費に対して補助金を交付することで、開設時から安定した質の高いサービスを提供するための体制整備を支援する。			主たる内容	地域密着型サービス事業所等の開設準備経費に対して、補助金を支給する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
		対象者	事業者	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		—		—		補助対象サービス ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 補助件数 1件 補助金額 13,299千円		補助対象サービス ・認知症対応型共同生活介護事業所 ・小規模多機能型居宅介護事業所 補助件数 2件 補助金額 22,653千円	
成果		事業者は補助金を活用し、備品等の設備を購入し、令和元年11月に市内初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所を開所することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所数（箇所）			0	0	1	1	1
成果指標		認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護併設型事業所数（箇所）			2	2	2	3	3
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	13,299	22,653	合計 13,299,000 円		
	財源	特定財源	0	0	13,299	22,653	負担金、補助及び交付金 13,299,000 円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	39	38			
	総事業費（①+②）		0	0	13,338	22,691			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		介護施設開設準備経費等支援事業費補助金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			介護施設開設準備経費等支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者の自宅での生活を支援するとともに、認知症の高齢者の支援を行うなど介護サービスの充実を推進する上で必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所は、利用が刈谷市民に限られる地域密着型サービスの事業所である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	事業者が施設の開設時から、安定した質の高いサービスを提供するための体制整備を支援できる。。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・各種サービスの利用見込みを適切に行った上で、今後の整備及び補助金交付の必要性を検討する。	

会計名 一般会計			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。			主たる内容	行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	令和元年度 ~		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
						はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 59人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 100人	
成果		認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。							
課題		市内には日常的にははいかいはいのかいのある高齢者がいるため、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			—	—	59	100	120
活動指標									
他市との比較検証		平成30年度に大府市、阿久比町で事業を開始し、平成31年度以降本市を含め事業が広まりつつある。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	177	177	合計	177,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	177,000 円	
		一般財源	0	0	177	177			
	職員人件費 ②		0	0	616	606			
	総事業費（①+②）		0	0	793	783			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	認知症高齢者の増加により、はいかい高齢者に対する理解、支援が社会的に必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	市はいかい高齢者個人賠償責任保険に一括加入することにより、一人当たりの保険料を安くすることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	はいかい高齢者が引き起こす可能性のある鉄道事故等による損害賠償額は高額となる恐れがあり、本人及びその家族の負担軽減は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	保険加入要件である行方不明高齢者等SOSネットワークの加入者が増えた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
はいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の安心感が担保されるため、継続して事業を行っていく。					

会計名			地域包括支援センター整備事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	地域包括支援センターを増設することにより、高齢者数、相談件数等の増加に対応するとともに、高齢者福祉の充実を図る。				主たる内容	雁が音中学校区、朝日中学校区に1か所ずつ地域包括支援センターを設置する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画						
		根拠法令	介護保険法						
	対象者					事業期間	～		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
						雁が音地域包括支援センター設置のため、一ツ木福祉センター1階ロビー等を改修した。		朝日地域包括支援センター設置のため、南部福祉センター1階相談室等を改修する。	
成果		一ツ木福祉センター改修工事を行い雁が音地域包括支援センターを設置することにより、北部地区の高齢者により身近な相談窓口を開設することができた。							
課題		中部地区の地域包括支援センター2か所は共に刈谷南中学校区にあり、刈谷東中学校区における地域包括支援センター開設を検討していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		地域包括支援センター設置数（箇所）			4	4	4	6	7
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	3,391	13,040	合計	3,391,058 円	
	財源	特定財源	0	0	1,190	0	需用費	99,858 円	
		一般財源	0	0	2,201	13,040	工事請負費	3,291,200 円	
	職員人件費 ②		0	0	308	1,287			
	総事業費（①+②）		0	0	3,699	14,327			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0		地域密着型サービス施設等整備助成事業費補助金			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域包括支援センター整備事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域包括支援センターの設置は介護保険法に定められており、増設により、より地域に密着した施設を充実させることができた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	一ツ木福祉センターの改修工事により、工事費等増設に係る経費を削減できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域包括支援センターの機能充実は、第7期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点施策に掲げている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	高齢者の住み慣れた地域での支援体制づくりに寄与できた。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢者人口、相談件数の増加に対応するため、北部地区の地域包括支援センターの増設のための一ツ木福祉センターの改修工事を行ったが、令和2年度には南部地区の増設のためのたんぼぼの改修工事を行う。					

会計名			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり							
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保を始めとする諸活動を支援する。				主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
			根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律						
			対象者	刈谷市シルバー人材センター		事業期間	昭和54年度～			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがづくりを図ることができた。								
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			466	480	504	520	—		
指標										
他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 平成31年度 碧南市 458人、安城市 1,044人、知立市 429人、高浜市 405人 平成30年度 碧南市 457人、安城市 1,005人、知立市 444人、高浜市 480人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。									
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		23,376	22,714	25,098	30,185	合計 25,097,898 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 25,097,898 円			
		一般財源	23,376	22,714	25,098	30,185				
	職員人件費 ②		310	309	308	303				
	総事業費（①+②）		23,686	23,023	25,406	30,488				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。			主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和48年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・いこいの場開設(35ヶ所)		・いこいの場開設(35ヶ所)		・いこいの場開設(34ヶ所)		・いこいの場開設(34ヶ所)		
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	いこいの場開設日数（日）			6,102	6,876	5,404	6,300	—		
活動指標	いこいの場利用者数（人）			68,777	68,265	62,101	65,000	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,416	3,538	3,274	3,307	合計		3,273,612 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費		9,612 円	
		一般財源	3,416	3,538	3,274	3,307	委託料		3,264,000 円	
	職員人件費 ②		1,008	1,003	2,156	1,742				
	総事業費（①+②）		4,424	4,541	5,430	5,049				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費			0							
3年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			高年齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の全国大会出場者に激励金を交付し、高齢者スポーツの奨励を図る。			主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		秋田大会：7人		富山大会：6人		和歌山大会：4人		岐阜大会：12人		
成果		愛知県代表として全国大会に出場する選手に奨励金を交付する事で、大会出場者の士気を高めることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		高齢者スポーツ大会出場者数（人）			7	6	4	12	—	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		70	60	40	140	合計	40,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	40,000 円		
		一般財源	70	60	40	140				
	職員人件費 ②		310	309	1,078	909				
	総事業費（①+②）		380	369	1,118	1,049				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			生きがい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、要介護状態にならないよう通所による介護予防サービスを提供し、自立支援と保健福祉の向上を図る。	主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令		刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要綱					
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成9年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		実施延日数：149日 利用延人数：1,212人		実施延日数：157日 利用延人数：1,267人		実施延日数：138日 利用延人数：908人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：第2・第4火曜日開催	
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。							
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			149	157	138	168	—
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			1,212	1,267	908	1,500	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,451	4,393	4,297	6,627	合計	4,296,586 円	
	財源	特定財源	523	531	450	510	委託料	4,296,586 円	
		一般財源	3,928	3,862	3,847	6,117			
	職員人件費 ②		155	540	385	1,666			
	総事業費（①+②）		4,606	4,933	4,682	8,293			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	3								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。			主たる内容	○各地区等で行われる老人の日行事に対し補助金を交付する。 ○対象年齢の方に記念品及び敬老金を贈呈する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老祝金品支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱								
	対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O A 実 績 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		記念品対象者（満77歳以上） 11,397人 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 959人(10,000円) 満99歳 24人(30,000円) 満100歳以上 52人(20,000円)		記念品対象者（満78歳以上） 10,653人 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 944人(10,000円) 満99歳 41人(30,000円) 満100歳以上 41人(20,000円)		記念品対象者（満79歳以上） 9,933人 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 1,001人(10,000円) 満99歳 32人(30,000円) 満100歳以上 45人(20,000円)		記念品対象者（満80歳以上） 敬老金対象者 満87歳、満89歳、満98歳 (10,000円) 満99歳 (30,000円) 満100歳以上 (20,000円)		
		成果	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。							
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	記念品対象者（人）				11,397	10,653	9,933	—	—	
活動指標	敬老金対象者（人）				1,035	1,026	1,078	—	—	
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		24,599	24,660	24,524	24,233	合計 24,524,213 円			
	財源	特定財源	1	1	1	2	報償費 17,951,588 円			
		一般財源	24,598	24,659	24,523	24,231	需用費 287,825 円			
	職員人件費 ②		4,343	4,321	7,008	2,423	役務費 297,000 円			
	総事業費（①+②）		28,942	28,981	31,532	26,656	使用料及び賃借料 3,400 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金						
3年度以降の事業費見込		0								
負担金、補助及び交付金		5,984,400 円								

会計名			地域介護等推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。		主たる内容	○家庭介護教室の開催（年3回） ○認知症サポーター養成講座および認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。また、ステップアップ講座により、地域で自主的に活動できるサポーターを育成する。 ○認知症に関するパンフレットの作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	平成19年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ5日間） ・認知症サポーター養成講座 21回開催：624人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：55人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 18回開催：959人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：52人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 19回開催：841人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催：38人 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定		・家庭介護教室の開催（年3回、延べ4日間） ・認知症サポーター養成講座 20回開催：700人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回開催 ・パンフレット等を窓口・施設にて配布予定	
成果		・専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。 ・地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どもの中から認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。							
課題		・認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。 ・平成28年度に第1回認知症サポーターステップアップ講座（39人参加）を実施し、毎年度各1回開催してきたが、認知症サポーターに今後どのように関わっていただくかを模索中である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）		7,856	8,815	9,656	10,356	11,056	
活動指標		家庭介護教室参加者数（人）		135	115	71	120	120	
他市との比較検証		・他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		344	415	163	633	合計	163,400 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	22,000 円	
		一般財源	344	415	163	633	需用費	108,780 円	
	職員人件費 ②		3,334	2,546	2,542	2,575	役務費	2,020 円	
	総事業費（①+②）		3,678	2,961	2,705	3,208	使用料及び賃借料	30,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			認知症カフェ運営支援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	住民が気軽に立ち寄れる認知症カフェに医療、介護、保健分野の専門職が一般の参加者として関わることにより、参加者の目線に合わせて、医学的、心理社会的側面から相談、情報交換、情報発信等が可能な場を創出する。				主たる内容	認知症カフェ運営者に対し、専門職の派遣を委託する。			
	位置づけ	関連計画	あいちオレンジタウン構想							
		根拠法令								
		対象者				事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
				富士松地区にある既存のヴェル・オレンジカフェをモデル事業とし、医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを開催した。		ヴェル・オレンジカフェ始め市内3か所にて医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを開催した。		医師、看護師等専門職のいる認知症カフェを継続して開催する。		
成果		認知症カフェに地域の医師、看護師が参加者として関わることにより、認知症患者本人やその家族に対して、医学的、心理社会的側面から相談、情報交換を行った。カフェの内容としては、茶話会を基本としながらも、看護師による健康講話・健康体操を実施し、参加者の健康に対する意識を高めることができた。								
課題		ヴェル・オレンジカフェでのモデル事業の開催、他の地区での専門職のいる認知症カフェの開催はできたが、今後の認知症カフェのあるべき姿、方法の検討が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		専門職のいる認知症カフェ開催回数（回）				—	3	42	48	48
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	172	136	376	合計	136,356 円		
	財源	特定財源	0	172	136	376	需用費	82,304 円		
		一般財源	0	0	0	0	委託料	54,052 円		
	職員人件費 ②		0	231	1,232	1,060				
	総事業費（①+②）		0	403	1,368	1,436				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費			0	あいちオレンジタウン構想モデル事業委託金				
3年度以降の事業費見込			0							

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	目的 福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。			主たる内容	協議会を開催し、福祉有償運送の適切な運営を図る。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱						
			対象者	協議会委員		事業期間	平成17年度～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		・協議会の開催 開催日 11月13日		・協議会の開催 開催日 11月20日 3月26日		・協議会の開催 開催日 11月 8日 2月 5日		・協議会を1回以上開催予定		
成果		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPO等による自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		協議会開催数（回）			1	2	2	1	1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		58	128	122	141	合計	121,600 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	121,600 円		
		一般財源	58	128	122	141				
	職員人件費 ②		388	386	385	1,666				
	総事業費（①+②）		446	514	507	1,807				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			配食サービス事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、もって福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3回以内の夕食を配達し安否確認を行う。（カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） 利用者負担は、1食につき300円。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成8年度 ~				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		利用者数：337人 延べ利用食数：29,930食		利用者数：365人 延べ利用食数：30,411食 ・配食サービスの希望曜日及び希望業者の選択制を実施		利用者数：405人 延べ利用食数：34,303食		利用者数：420人 延べ利用食数：35,000食	
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。							
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）			337	365	405	420	420
活動指標		延べ利用食数（食）			29,930	30,411	34,303	35,000	35,000
他市との比較検証		県内全市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。							
C 事業コスト V		単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①	14,963	15,222	17,989	19,333	合計	17,988,962 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	17,988,962 円	
		一般財源	14,963	15,222	17,989	19,333			
	職員人件費 ②	2,559	2,083	2,388	1,742				
	総事業費（①+②）	17,522	17,305	20,377	21,075				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	移動の際に電車・バス等を利用することが困難な高齢者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより高齢者の外出支援及び閉じこもりを予防し、また、通常の自家用車を利用することが困難な高齢者に対し、特殊車両タクシー料金の一部を助成することにより、医療機関への通院等を支援し、もって福祉の増進を図る。	主たる内容	【高齢者タクシー】在宅の要支援2以上で、市民税非課税世帯の65歳以上の高齢者に対し、タクシー料金助成利用券（定額、最大780円）を一月あたり3枚交付する。 【介護タクシー】在宅の要介護1以上で、特殊車両の必要な65歳以上の高齢者に対し、車椅子昇降機付き車両や寝台付車両のタクシー料金助成利用券（定額、最大4,270円）を一月あたり3枚交付する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市高齢者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成14年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：169人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：275人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：172人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：287人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：189人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：333人		・高齢者タクシー料金助成利用券交付人数：227人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数：376人	
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い交付人数の増加を見込んだが、高齢化率に比例して交付人数は増えていないため、高齢者の問題として移動が困難な事があげられる中、より一層の周知に努め、助成に繋がるようにする必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		高齢者タクシー料金助成利用券交付人数（人）			169	172	189	227	227
活動指標		介護タクシー料金助成利用券交付人数（人）			275	287	333	376	376
他市との比較検証		県内約半数の市で同様の事業を実施している。1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。							
C 事業コスト		単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費①	11,326	13,394	13,809	18,502	合計	13,809,158円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	423,368円	
		一般財源	11,326	13,394	13,809	18,502	扶助費	13,385,790円	
	職員人件費②	3,490	3,395	2,388	1,590				
	総事業費（①+②）	14,816	16,789	16,197	20,092				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生活支援ハウス運営委託事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	居室において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。			主たる内容	市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6か月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料（利用者の収入によって決定）の他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成19年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		利用人数：6人 延べ日数：456日		利用人数：6人 延べ日数：469日		利用人数：4人 延べ日数：539日		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		被虐待者など、避難先として住居が必要となった高齢者に対して住居を提供することで、高齢者の不安の解消及び必要な支援等を実施することができた。							
課題		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者は増加しているため、一時的な住居として利用できる生活支援ハウスの周知を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		生活支援ハウス利用人数（人）			6	6	4	—	—
指標									
他市との比較検証		県内で一宮市、春日井市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、高浜市、新城市、田原市等が同様な事業を実施。 多くが社会福祉法人に運営を委託しており、定員は7名から20名である。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		8,780	8,780	8,780	8,780	合計	8,780,000円	
	財源	特定財源	37	46	366	10	委託料	8,780,000円	
		一般財源	8,743	8,734	8,414	8,770			
	職員人件費②		1,473	1,234	924	606			
	総事業費（①+②）		10,253	10,014	9,704	9,386			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0		生活支援ハウス利用負担金			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			高齢者日常生活支援事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。 主たる内容 ○緊急通報システム：ひとり暮らし高齢者等に、急病・事故等の緊急時にボタンひとつで連絡がとれる緊急通報システムを整備する。 ○福祉電話：ひとり暮らし高齢者等に、民生委員が定期的な電話による声の訪問を行う。また、電話機のない市民税非課税のひとり暮らし高齢者の自宅に電話機を設置する。	主たる内容	○日常生活用具給付：市民税非課税世帯のひとり暮らし又はねたきり・認知症高齢者に、火災警報器・自動消火器・電磁調理器を給付する。 ○家具転倒防止器具取付：高齢者のみ世帯に、家具転倒防止器具の取付を代行する。 ○布団乾燥等：高齢者のみ世帯で布団の衛生管理が困難な人に布団乾燥を実施する。また、ねたきり・認知症高齢者に、寝具のクリーニング又は貸与を実施する。 ○友愛訪問：ひとり暮らし高齢者の自宅にいきいきクラブ会員等が定期的に訪問する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱、刈谷市福祉電話事業実施要綱 他							
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 A 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報：552人 *年度末時点。シルバーハウジング利用者含む。 声の訪問：42人 福祉電話：29人 日常生活用具：10人 家具転倒防止器具：3世帯 布団乾燥等：159人 友愛訪問：9人 		<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報：558人 *年度末時点。シルバーハウジング利用者含む。 声の訪問：54人 福祉電話：24人 日常生活用具：6人 家具転倒防止器具：8世帯 布団乾燥等：144人 友愛訪問：6人 		<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報：534人 *年度末時点。シルバーハウジング利用者含む。 声の訪問：54人 福祉電話：19人 日常生活用具：5人 家具転倒防止器具：4世帯 布団乾燥等：121人 友愛訪問：6人 		<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報：581人 *シルバーハウジング利用者含む。 声の訪問：54人 福祉電話：32人 日常生活用具：34人 家具転倒防止器具：10世帯 布団乾燥等：155人 友愛訪問：30人 		
成果		ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		緊急通報システム利用者数（年度末時点。シルバーハウジング利用者含む）（人）				552	558	534	581	600
活動指標		布団乾燥等利用者数（人）				159	144	155	155	160
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,959	18,519	18,406	24,668	合計	18,406,373 円		
	財源	特定財源	220	114	170	153	報償費	47,250 円		
		一般財源	18,739	18,405	18,236	24,515	委託料	17,675,589 円		
	職員人件費 ②		4,110	6,327	5,006	4,392	使用料及び賃借料	257,906 円		
	総事業費（①+②）		23,069	24,846	23,412	29,060	扶助費	425,628 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費			0		在宅福祉事業一部負担金					
3年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料として、月額1,000円。 。（生活保護法による被保護者世帯及び生計中心者市民税所得割非課税世帯は除く。）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱							
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		部屋数：53戸		部屋数：54戸 平成31年1月に1戸増設		部屋数：54戸		部屋数：54戸		
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。								
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		シルバーハウジング部屋数（戸）				53	54	54	54	54
指標										
他市との比較検証		県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。 利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。								
C 事業コスト		単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①	11,337	10,765	10,598	17,408	合計	10,597,831円			
	財源	特定財源	67	72	72	72	委託料	10,597,831円		
		一般財源	11,270	10,693	10,526	17,336				
	職員人件費②	1,086	1,543	924	833					
	総事業費（①+②）	12,423	12,308	11,522	18,241					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	目的 在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、その属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。見舞金は、年2回（9月・3月）に分けて支給する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		受給者数 前期：636人 後期：659人		受給者数 前期：674人 後期：668人		受給者数 前期：679人 後期：710人		受給者数 前期：720人 後期：720人	
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、対象者の増加が見込まれるため、より一層の周知に努め、給付に繋がるようにする必要がある。また、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防を併せて推進することも必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：前期（人）			636	674	679	720	720	
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者数：後期（人）			659	668	710	720	720	
他市との比較検証	県内の約半数の市で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定する他、要介護度やその状態が3か月以上継続していることなどの要件がある。また、世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		32,561	34,306	35,953	37,108	合計	35,952,973 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	82,973 円	
		一般財源	32,561	34,306	35,953	37,108	扶助費	35,870,000 円	
	職員人件費 ②		4,885	3,241	2,233	2,953			
	総事業費（①+②）		37,446	37,547	38,186	40,061			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目				担当課	長寿課		
3	1	3				担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、一月あたり3,000円相当のおむつ費用助成利用券を交付する。 なお、要介護認定4又は5で、市民税非課税世帯の人は、一月あたり6,000円相当とする。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度 ~					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		利用券交付人数 前期：495人 後期：478人		利用券交付人数 前期：514人 後期：478人		利用券交付人数 前期：552人 後期：548人		利用券交付人数 前期：635人 後期：635人	
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：前期（人）		495	514	552	635	640		
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券交付人数：後期（人）		478	478	548	635	640		
他市との比較検証	県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①	13,972	14,564	15,999	17,653	合計	15,998,937 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
		一般財源	13,972	14,564	15,999	17,653	需用費	354,002 円	
	職員人件費 ②	4,808	3,781	2,542	2,347	扶助費	15,608,935 円		
	総事業費（①+②）	18,780	18,345	18,541	20,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日常生活品の購入などに充てる。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		受給者数：11人		受給者数：7人		受給者数：7人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）			11	7	7	—	—
指標									
他市との比較検証		養護老人ホームを持つ近隣4市は皆補給金を7,500円/月としている。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		735	548	630	1,125	合計	630,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	630,000円	
		一般財源	735	548	630	1,125			
	職員人件費②		2,637	2,700	1,848	1,060			
	総事業費（①+②）		3,372	3,248	2,478	2,185			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名		在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。	主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		受給者数：0人		受給者数：0人		受給者数：0人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		市民だより等で事業の周知を行った。							
課題		大正15年4月1日以前に出生した外国人で、1年以上刈谷市に住んでいる方が対象ということで、制度はあるものの今後受給者が出るか未定。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		在日外国人特別給付金受給者数（人）			0	0	0	-	-
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	0	120	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	120			
	職員人件費 ②		233	231	23	303			
	総事業費（①+②）		233	231	23	423			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部			
一般会計							担当課	長寿課			
款	項	目					担当係	高齢福祉係			
3	1	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援								
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。			主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。 ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則								
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画			
		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：3人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：26人 他市：4人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：5人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。			
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。									
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			28	30	30	—	—		
指標											
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		63,301	69,191	77,183	98,177	合計 77,182,593 円				
	財源	特定財源	55,211	61,675	63,734	87,326	報償費 40,000 円				
		一般財源	8,090	7,516	13,449	10,851	扶助費 77,142,593 円				
	職員人件費 ②		3,722	2,623	2,619	3,105					
	総事業費（①+②）		67,023	71,814	79,802	101,282					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称					
元年度までの累積事業費		0		老人ホーム扶養義務者負担金 老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入							
3年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			防災ベッド設置費補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	防災ベッドを設置するための費用を補助することにより高齢者の安全を確保し、福祉の増進を図る。		主たる内容	65歳以上の在宅の人を対象に防災ベッドを設置する費用を補助する。 補助率 市民税非課税世帯 10/10(上限30万円) 市民税課税世帯 9/10(上限27万円)				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市高齢者防災ベッド設置費補助金交付要綱						
		対象者	在宅の65歳以上の人		事業期間	平成28年度 ~ 令和元年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・設置者 0人 ・補助額 0円		・設置者 3人 ・補助額 870,000円		・設置者 0人 ・補助額 0円 平成31年度で事業終了とした。		_____	
成果		地域の防災イベントで防災ベッドの実物展示、説明を行い、市民への周知を行った。							
課題		申請者が少ないので、事業の周知が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
活動指標		防災ベッド設置者数（人）		29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
指標			0	3	0	-	-		
他市との比較検証	近隣市の多くは、30万円上限で耐震シェルターの設置費助成を行なっている。								
C 事業コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	870	0	0	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	870	0	0			
	職員人件費 ②		543	463	385	0			
	総事業費（①+②）		543	1,333	385	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名		基幹型地域包括支援センター連携強化事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	地域包括ケアシステム構築のため、基幹型地域包括職員が行政と連携強化することで、地域ニーズに合った生活支援、介護予防施策形成につなげる。		主たる内容	基幹型地域包括支援センター職員1名が市役所長寿課で勤務し、行政との連携強化に資する業務を実施し、地域包括ケアシステム構築に取り組む。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
				基幹型地域包括支援センター職員1名を、月10日ほど市役所長寿課に研修勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。	
成果		基幹型地域包括支援センター職員が市役所長寿課に勤務することにより、連携強化につなげることによる一定の成果がみられた。							
課題		基幹型地域包括支援センターのあるべき姿を模索し、地域包括支援センター全体の連携を強化していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		長寿課勤務職員数			-	1	1	1	4
活動指標									
他市との比較検証		基幹型地域包括支援センターとの連携強化を図っていく動きが他市にもみられる。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	2,800	3,021	3,021	合計	3,021,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,021,000 円	
		一般財源	0	2,800	3,021	3,021			
	職員人件費 ②		0	617	1,463	1,060			
	総事業費（①+②）		0	3,417	4,484	4,081			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			住宅改善費等補助事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系		分野	福祉安全						
			基本施策	高齢者福祉						
			施策の内容	介護サービスの充実						
	目的		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減を図る。		主たる内容	①住宅改善費補助 要介護認定者等へ介護保険の対象を超える20万円までの住宅改修費の一部を補助する。 ②介護支援ベッド貸与利用料補助 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ③住宅バリアフリー化工事費補助金 要介護認定等を受けていない人で住宅の改修が必要と認められる場合、10万円までの住宅改修費の一部を補助する。				
	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令		刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱							
	対象者		※主たる内容に記載		事業期間	平成12年度～				
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		①補助人数	137人	①補助人数	182人	①補助人数	156人	①補助人数	202人	
補助額		14,628,937円	補助額	19,192,889円	補助額	16,512,705円	補助額	21,437,000円		
②補助人数		223人	②補助人数	207人	②補助人数	190人	②補助人数	253人		
補助額		5,981,850円	補助額	5,800,896円	補助額	5,076,660円	補助額	6,774,000円		
③補助人数		4人	③補助人数	4人	③補助人数	4人	③補助人数	135人		
補助額		360,000円	補助額	287,794円	補助額	321,442円	補助額	12,150,000円		
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。								
課題		高齢化率の上昇に伴う予算の増加。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		29年度	30年度	元年度	2年度	4年度				
活動指標	住宅改善費補助人数（人）	137	182	156	202	—				
活動指標	住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）	4	4	4	135	—				
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。									
C 事業 コスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		21,065	25,404	22,005	40,799	合計 22,004,807 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 22,004,807 円			
		一般財源	21,065	25,404	22,005	40,799				
	職員人件費 ②		2,016	2,006	2,002	682				
	総事業費（①+②）		23,081	27,410	24,007	41,481				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			介護保険会計繰出事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。				主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	介護保険法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		介護給付費分：908,064,000円		介護給付費分：939,125,000円		介護給付費分：999,531,000円		介護給付費分：1,010,025,000円		
地域支援事業費分：88,453,000円		地域支援事業費分：80,830,000円		地域支援事業費分：130,327,000円		地域支援事業費分：167,696,000円				
低所得者保険料軽減分：9,481,000円		低所得者保険料軽減分：9,753,000円		低所得者保険料軽減分：40,619,000円		低所得者保険料軽減分：40,912,000円				
総務費分：240,127,000円		総務費分：233,533,000円		総務費分：231,786,000円		総務費分：245,290,000円				
計 1,246,125,000円		計 1,263,241,000円		計 1,402,263,000円		計 1,463,923,000円				
成果		介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標	繰出額（千円）				1,246,125	1,263,241	1,402,263	1,463,923	—	
指標										
他市との比較検証										
Cコスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費①		1,246,125	1,263,241	1,402,263	1,463,923	合計 1,402,263,000円			
	財源	特定財源	10,206	7,095	29,481	30,684	繰出金 1,402,263,000円			
		一般財源	1,235,919	1,256,146	1,372,782	1,433,239				
	職員人件費②		78	77	77	76				
	総事業費（①+②）		1,246,203	1,263,318	1,402,340	1,463,999				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費			0		低所得者保険料軽減負担金			
		3年度以降の事業費見込			0					

会計名 一般会計			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。			主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年収入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		①助成人数	6人	①助成人数	8人	①助成人数	14人	①助成人数	10人
助成額		237,185円	助成額	291,819円	助成額	424,412円	助成額	646,000円	
②補助法人数		3法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	3法人	
補助額		1,234,000円	補助額	921,000円	補助額	865,000円	補助額	1,899,000円	
成果	生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。								
課題	市民及び法人へ制度の周知を図ること。								
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			6	8	14	10	—
	活動指標	②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			1,234,000	921,000	865,000	1,899,000	—
他市との比較検証	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,471	1,213	1,289	2,570	合計 1,289,412 円		
	財源	特定財源	925	690	648	1,441	負担金、補助及び交付金 865,000 円		
		一般財源	546	523	641	1,129	扶助費 424,412 円		
	職員人件費 ②		233	231	231	0			
	総事業費（①+②）		1,704	1,444	1,520	2,570			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減事業費補助金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 介護保険法								
	対象者	市内介護支援専門員			事業期間	平成18年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導者研修会 2回 （上半期1回中止）		
		成果	介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。							
課題		より多くの介護支援専門員に参加してもらうため、対象者のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標	開催数（回）				2	2	2	2	—	
成果指標	延参加人数（人）				77	88	89	95	—	
他市との比較検証	刈谷市独自の事業である。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		25	12	6	29	合計		6,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		6,000 円	
		一般財源	25	12	6	29				
	職員人件費 ②		388	386	77	0				
	総事業費（①+②）		413	398	83	29				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名			主任介護支援専門員研修費補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護保険企画係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	省令の一部改正により居宅介護支援事業所の管理者は、主任介護支援専門員であることが条件となったことから、主任介護支援専門員の資格取得のために必要な研修に係る受講費用を補助することで、介護保険サービスの根幹の役割をなす居宅介護支援事業所の財政的支援と人材育成の取り組みの促進を目的とする。	主たる内容	主任介護支援専門員の資格を取得するために必要な研修に係る費用の2分の1を補助する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	事業者	事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		_____		補助金交付件数 41,000円×7事業所		補助金交付件数 41,000円×24事業所	
成果		介護保険サービスの根幹の役割をなす居宅介護支援事業所の財政的支援と人材育成の取組を促進することができた。							
課題		主任介護支援専門員を配置できていない事業所があるため、全事業所において早期に取得できるよう補助制度をPRする。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		主任介護支援専門員資格取得事業所			-	-	22	31	-
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	189	648	合計	189,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	189,000 円	
		一般財源	0	0	189	648			
	職員人件費 ②		0	0	39	38			
	総事業費（①+②）		0	0	228	686			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則					
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	昭和62年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 施設の修繕等 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 施設の修繕等 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		高齢者市民講座参加者延人数（人）			4,451	4,306	4,183	4,800	—
活動指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）			21,071	18,581	18,126	21,000	—
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		17,894	18,502	18,620	21,130	合計	18,620,244円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	役員費	12,918円	
		一般財源	17,894	18,502	18,620	21,120	委託料	16,240,578円	
	職員人件費②		233	231	539	303	使用料及び賃借料	1,980,000円	
	総事業費（①+②）		18,127	18,733	19,159	21,433	工事請負費	183,600円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
		3年度以降の事業費見込		0					
							備品購入費	203,148円	

会計名			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	6							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。	主たる内容	施設の管理運営					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、刈谷市ふれあいの里条例						
	対象者	※目的に記載		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・施設の修繕等		・養護老人ホーム管理運営委託 ・物品の設置及び更新		・養護老人ホーム管理運営委託	
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			26	28	27	—	—
指標									
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		81,618	80,684	86,099	95,234	合計	86,099,092 円	
	財源	特定財源	5,725	5,009	5,822	6,804	委託料	83,923,000 円	
		一般財源	75,893	75,675	80,277	88,430	備品購入費	2,176,092 円	
	職員人件費 ②		155	231	539	303			
	総事業費（①+②）		81,773	80,915	86,638	95,537			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金等			
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実							
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成9年度 ~					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度			
活動指標	高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）		130,433	124,826	113,822	130,500	—			
活動指標	うち大浴室利用者数（人）		57,352	54,131	48,587	58,000	—			
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳			
	事業費 ①		81,249	81,176	86,052	88,941	合計	86,051,599 円		
	財源	特定財源	0	1,936	175	10	需用費	1,211,040 円		
		一般財源	81,249	79,240	85,877	88,931	役務費	73,944 円		
	職員人件費 ②		233	231	539	303	委託料	76,189,500 円		
	総事業費（①+②）		81,482	81,407	86,591	89,244	使用料及び賃借料	3,204,115 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0		高齡者福祉施設事業費寄附金						
3年度以降の事業費見込		0								
備品購入費				5,373,000 円						

会計名		いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	管理係	
3	1					7			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市老人福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ツツ木福祉センター条例、刈谷市ツツ木福祉センター条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成10年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
活動指標		いきいきプラザ入館者数（人）		50,593	40,207	42,132	57,500	—	
活動指標		トレーニング室利用者数（人）		22,784	17,777	18,146	25,500	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		34,821	31,936	32,238	37,740	合計	32,238,104 円	
	財源	特定財源	0	0	0	67	需用費	293,282 円	
		一般財源	34,821	31,936	32,238	37,673	役務費	21,822 円	
	職員人件費 ②		233	231	539	303	委託料	31,410,000 円	
	総事業費（①+②）		35,054	32,167	32,777	38,043	備品購入費	513,000 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部
一般会計							担当課	長寿課
款	項	目					担当係	管理係
3	1	7						
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実					
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営及び各種講座の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則					
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
BDO実績	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
	<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 浴室利用 マッサージ室利用 ふれあい交流室利用 講座の開催 	
	成果	利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設の環境整備を図ることができた。						
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。						
	指標名称（単位）			実績値			目標値	
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		54,853	49,522	43,444	55,000	—
	活動指標	うち浴室利用者数（人）		25,718	23,427	20,936	26,000	—
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
Cコスト	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費①		5,486	14,368	14,656	20,294	合計	14,655,916円
	財源	特定財源	391	506	608	631	報償費	282,000円
		一般財源	5,095	13,862	14,048	19,663	需用費	3,114,167円
	職員人件費②		233	231	539	303	役務費	25,000円
	総事業費（①+②）		5,719	14,599	15,195	20,597	委託料	10,425,562円
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称		
		元年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料		
3年度以降の事業費見込		0						
使用料及び賃借料						使用料及び賃借料	745,387円	
						備品購入費	63,800円	

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり管理運				担当部	福祉健康部		
款 項 目		営事業				担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じて自立した在宅生活を営 むことができるよう支援する。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市 社会福祉協議会に委託する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	平成9年度 ~		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
				・歩行器の設置 ・エプロン等の更新		・送迎車用タイヤの更新設置 ・食器類の更新		洗濯機の更新	
成果		物品の設置及び更新、不具合施設の修繕を実施することにより、安全で快適な環境を提供し、もって利用者の利便性向上及び高齢者福祉の増進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）			293	292	285	294	—
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）			6,735	6,544	6,720	6,800	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	218	353	22,757	合計	353,264 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	353,264 円	
		一般財源	0	218	353	22,757			
	職員人件費 ②		0	0	77	303			
	総事業費（①+②）		0	218	430	23,060			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齡者交流プラザ改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、改定期に利用できる環境を維持する。			主たる内容	【修繕】 ・水質コントローラー修繕 ・冷温水一次ポンプ修繕 ・天井扇取替修繕 ・排水ポンプ取替修繕 【工事】 ・東側駐車場改修工事 ・事務室エアコン設置工事				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齡者		事業期間	平成28年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		【修繕】 養護老人ホームベランダ硝子飛散防止フィルム張替 他 【工事】 防犯カメラ増設工事 他		【修繕】 東西吹抜け硝子フィルム張替 他 【工事】 喫煙室改修工事		【修繕】 水質コントローラー修繕 冷温水一次ポンプ修繕 天井扇取替修繕 排水ポンプ取替修繕 【工事】 東側駐車場改修工事 事務室エアコン設置工事		【修繕】 真空式温水器部品取替修繕他 【工事】 空調設備取替工事 監視カメラ設置工事 自転車置場補修工事		
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
成果指標		修繕等箇所数（か所）				8	9	4	6	—
成果指標		修繕等進捗率（%）				100	100	100	100	—
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		106,702	33,621	8,845	9,713	合計 8,844,560 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 1,578,960 円			
		一般財源	106,702	33,621	8,845	9,713	工事請負費 7,265,600 円			
	職員人件費 ②		310	309	308	151				
	総事業費（①+②）		107,012	33,930	9,153	9,864				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
元年度までの累積事業費		0								
3年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					7	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			主たる内容	・空調設備改修工事		
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	・空調設備改修工事			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる	事業期間			平成28年度～		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績	2年度計画		
		・食洗機取替修繕 ・トイレ取替修繕 ・脱衣室床修繕		・空調設備改修工事 ・ろ過装置修繕		・空調設備改修工事	—		
成果		施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値		目標値				
			29年度	30年度	元年度	2年度	4年度		
成果指標		修繕等箇所数（か所）		3	2	1	—	—	
成果指標		修繕等進捗率（％）		100	100	100	—	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,000	12,884	6,852	0	合計 6,851,900 円 工事請負費 6,851,900 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	3,000	12,884	6,852	0			
	職員人件費 ②		465	386	385	0			
	総事業費（①+②）		3,465	13,270	7,237	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターたんぽぽ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる 内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市 社会福祉協議会に委託する。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ 根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、刈谷市南部福祉センター条例施行規則							
	対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	～ 令和元年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実績 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		<ul style="list-style-type: none"> 調理器具の更新 給食用トレーの更新 包丁まな板殺菌庫の整備 ガステーブルの更新 		平成31年度末に事業廃止		_____	
成果		平成31年度末で事業を廃止するにあたり、利用者が円滑に他事業所へ移行できるよう配慮した。							
課題									
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	老人デイサービスセンターたんぽぽ実施日数（日）		293	292	289	—	—	
	活動指標	老人デイサービスセンターたんぽぽ利用者数（人）		4,642	4,300	2,860	—	—	
他市との 比較検証									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		29年度 （決算）	30年度 （決算）	元年度 （決算）	2年度 （予算）	元年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	6,793	8,125	0	合計	8,125,446 円	
	財 源	特定財源	0	6,296	2,706	0	需用費	2,357,523 円	
		一般財源	0	497	5,419	0	委託料	5,474,369 円	
	職員人件費 ②		0	0	308	0	使用料及び賃借料	174,754 円	
	総事業費（①+②）		0	6,793	8,433	0	工事請負費	118,800 円	
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0		施設管理負担金					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな管理運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である光慈会 に委託する。		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則							
	対象者	介護保険法の規定に準じる			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
――		・入浴用リフト ・食器消毒保管庫		プロジェクターの設置		――			
成果		施設管理上必要な物品を設置することができた。							
課題		施設の老朽化により、更新の必要な物品が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標		老人デイサービスセンターなのはな実施日数（日）			―	307	308	―	―
活動指標		老人デイサービスセンターなのはな利用者数（人）			―	7,110	7,279	―	―
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	5,412	57	0	合計	56,700 円	
	財源	特定財源	0	0	57	0	備品購入費	56,700 円	
		一般財源	0	5,412	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	385	0			
	総事業費（①+②）		0	5,412	442	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
		元年度までの累積事業費		0					
3年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齡者緊急一時保護居室確保事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齡福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齡者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。		主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	高齡者虐待の防止、高齡者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法						
		対象者			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画	
		_____		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 11件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。	
成果		虐待等高齡者の緊急一時保護に迅速に対応できた。							
課題		緊急一時保護の居室の場所の確保を今後どのようにしていくか、検証する必要がある。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度
	活動指標	緊急一時保護居室確保数（床）			—	2	2	2	2
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	4,266	4,488	4,727	合計 4,488,494 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料 4,488,494 円		
		一般財源	0	4,266	4,488	4,727			
	職員人件費 ②		0	617	616	833			
	総事業費（①+②）		0	4,883	5,104	5,560			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称			
元年度までの累積事業費		0							
3年度以降の事業費見込		0							

会計名			ぬくもりプラザ改修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係			
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。	主たる内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浴室ろ過装置修繕（電動五方弁等取替） ・消火栓ホース取替修繕 ・空調機（ファンコイルユニット）取替工事 						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者		事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	29年度実績		30年度実績		元年度実績		2年度計画		
		_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> ・空調機取替工事 ・浴場ろ過装置修繕 ・消火栓ホース取替修繕 		無線チャイム設置工事		
成果										
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					29年度	30年度	元年度	2年度	4年度	
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（予算）	元年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,341	100	合計		1,341,016 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		750,000 円	
		一般財源	0	0	1,341	100	工事請負費		591,016 円	
	職員人件費 ②		0	0	0	151				
	総事業費（①+②）		0	0	1,341	251				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		元年度特定財源名称				
		元年度までの累積事業費		0						
3年度以降の事業費見込		0								